

# 体質の臨床試験について

許 鳳浩

金沢大学大学院 医薬保健学総合研究科 臨床研究開発補完代替医療学講座

体質とは、先天的に受け継いだ特徴に加え、後天的に獲得した様々な要素を土台に形成された身体構造や生理機能及び心理状態などにおける固有の特質のことを指している。体質は養生により調整することが可能とされているが、相対的安定性を持っており、総合的に個体の状態を表わすことができると言われている。また、体質は平和質、気虚質、陽虚質、陰虚質、痰湿質、湿熱質、血瘀質、気鬱質、特稟質の九種に分類されている。

中国では、中医体質理論は疾病の診断・治療における重要なツールとして幅広く臨床現場で応用されているが、個人のセルフメディケーションにおいても大いに役に立っている。日本の場合、体質という言葉自体の知名度はそれほど高くはないが、様々な分野における体質理論の応用が着実に広がりを見せている。今回、体質理論を用いたヒト試験に関する最近の動向について紹介する。

医療分野において、様々なテーラーメイド診療システムが脚光を浴びるが、3兆円規模とも言われている健食産業は同じ局面に立たされている一方、一般食品並びに健康食品の品質や安全性、有効性において、その評価はほとんど西洋現代医学、栄養学の着眼点で行われ、真のテーラーメイド的评价とは言えない。体質理論はまさに個体の視点から、食品に対する適合性のみならず、食品や健食の摂取後の一連の関連する生体反応を捉え、身心両面から総合的に生体への影響を観察することが可能と思われる。以下実例をあげて説明する。

## ① ハーブティーのオープンスタディーにおける体質の変化

独自にブレンドしたハーブティーは、1週間以上の摂取により、比較的短期間で体質の諸徴候に影響を与え、体質改善に役立つ可能性が示唆された。

## ② 新規技術を応用した精米の摂取による体質への影響

特殊技術による精米は日常的に食用される食材として、特に健康度の高い者において、気虚質、痰湿質、湿熱質、気鬱質などの改善に有益であることがはじめて示された。

## ③ 黒酢の無作為化二重盲検比較試験における体質の改善

黒酢含有食品を摂取することで、陽虚質（冷え性など）及び特稟質（アレルギー体質など）の体質改善に有効であることが示唆された。